

# 農繁期 レポート 令和2年 6月号

## バードライフファーム

オーナー	(一般)バードライフ・インターナショナル東京
水田面積	25.0アール
保証量	玄米1125kg
形態品種	特別栽培コシヒカリ



## 生産者 米風土鳥取の皆さん

今年も梅雨らしい雨はあまり降らず晴天がつづき、苗は順調に育っています。後半に来るであろう大型台風と近年多発のイノシシ被害を防ぐべき格闘しております。野菜のおいしい時期の暑い夏が今年も来そうです。

### 6月の作業内容と稲の成長

#### 1. 草刈り

稲作期間中、1水田あたり複数回草刈りをします。雑草は害虫の寝床になり、稲が病気にかかってしまうからです。強い薬を撒いてしまえば草など生えてきませんが、それはお米にも影響を与えるため極力使わないようにしています。



#### 2. 除草剤まき

水田周りは草刈り機で対応しますが、水田の中は除草剤を使って対応します。全水田を手作業で草取りをすると、草の成長が早すぎて間に合いません。減農薬(特別)栽培と言っているのは、こういう箇所です。



#### 3. 水の管理

日南町のように昼夜の寒暖差が激しい地域では水によって稲を保温させています。稲が生長していく初期過程では気温よりも水温が大きく影響するためです。肥料の吸収も水を通して行われるため、撒く日は天気予報見て判断します。



#### 稲の分けつ

田植えをしてから稲はどんどん茎が増えていくことで生長します。これを分けつと言い、茎が20本前後になるまで続きます。ただ増やせばよいのではなく、適正数を超えてしまうと稲に悪影響を及ぼすため、途中で生長を強制的に止めます。

